

恐竜がいた時代の貝の化石を観察



二枚貝の化石探しに挑戦!

町内の小学6年生を対象に行われる「ふるさと学習会」が、6月16日(土)、⑤細浦の徳性寺から⑥管の浜の魚竜館まで歩くコースで行われました。
細浦海岸探検(表紙に掲載)の後、⑥皿貝のモノチスという二枚貝の化石がたくさん見られる場所に移動した子どもたちは、町文化財担当職員から「皿貝層群」の成り立ちと、そこで見られる「皿貝化石」の説明を受けました。そして、子どもたちは思い思いの場所で化石を探し、約2億年前に生きた貝の化石を手にして、熱心に観察していました。
この学習会は、他校の児童と一緒に活動しながら、地域の歴史や自然環境を学ぶことなどを目的に、町教育委員会が年5回開催しています。

白い帆に風を受けて マリンスポーツを楽しむ

6月16日(土)と17日(日)の2日間、志津川自然の家の主催事業「ヨット&マリンスポーツ」が開催され、県内から集まった28人が、マリンスポーツを楽しみました。

初日は、ヨットがどうやって進むのかなど原理や操作方法を学び、2日目は、実際にヨットを組み立て、海に出て実習しました。

ヨットに乗るのは初めてという受講生も、講師や地元ヨットクラブの皆さんに教えられながら操作するうちに、風の流れをつかんで操作できるようになりました。

また、シーカヤックや、ドラゴンボートも体験し、マリンスポーツを満喫しました。



初めての受講生も操作できるようになりました

元気で長生きの 食生活を送るために

6月21日(木)、志津川公民館を会場にシルバークッキングが行われ、汐見地区の高齢者18人が、地元食材を使った健康食づくりを学びました。

メニューは、南三陸産の銀鮭を使った南蛮酢、津山産あぶらふを使った「もくもく煮」など4品で、栄養士が、バランスの良い食材とカロリーを押さえた調理法を説明しながら実習を行いました。

料理ができあがると、参加者みんなで楽しく食べながら、健康について語り合っていました。

また、保健師による介護予防の講話、血圧測定、介護と健康相談も行われました。



高齢者にあった健康料理を楽しく調理



珍プレー好プレーに笑い歓声が響きわたる会場

笑い歓声の一日

5月27日(日)、ベイサイドアリーナを会場に、志津川地区家庭バレーボール大会が開催され、男子の部17チーム、女子の部13チームによる熱戦が繰り広げられました。

試合では、珍プレー好プレーが時折り見られ、会場は笑い拍手で盛り上がりを見せていました。

試合結果は、男子は清水・細浦チームが優勝、女子は5年連続で荒砥チームが優勝しました。

ひころの里を 清掃ボランティア

6月10日(日)、ひころの里で地域の皆さん約150人が参加して、清掃と緑化ボランティア活動が行われました。この活動は、入谷グリーンウェーブ青年部の呼びかけで、施設がオープンして以来毎年行われ、今年で12年目になります。

とても広い敷地ですが、草刈機などによる刈払いや花壇への植栽を手際よく行い、ひころの里は見違えるようになくなりました。



手際よく進められた草刈作業

海にごみを捨てません!子どもたちの約束

6月13日(水)、名足保育園では「海洋環境保全教室」が行われました。この教室は、海上保安庁が毎年6月に行う「海洋環境保全月間」に合わせ、気仙沼海上保安署が、子どもたちに「海の大切さ」を認識してもらおうと実施しています。

署員がプロジェクターを使った電子紙芝居「アザラシくんのかつやく」を上映し、海が汚れると魚たちや海に住む生き物が死んでしまうことを伝えると、園児たちは「絶対に海にごみを捨てません」と元気に約束しました。

このあと、海上保安庁のイメージキャラクターのぬいぐるみ「うーみん」とのふれあい時間もあり、園児たちは楽しいひと時を過ごしました。



海を大切にすることを学んだ名足保育園の園児たち